

「金利のある世界」に突入した2025年は“不動産マーケットの重大な転機の年”となる！
不動産を取り巻く環境とアセットタイプ別のビジネス動向を整理したうえで、
マーケットで勝ち残るために押さえておきたい“次代のビジネスチャンス”を徹底研究！

不動産事業プロデューサー 牧野知弘 氏の豊富で深い見識を開示

[不動産価値革命]と 今後のビジネスチャンス研究

金利が不動産マーケットに与える影響 建設費高騰の行方 富裕層の台頭

アセットタイプ別に見たマーケット動向と今後 マンション/オフィス/ホテル/商業施設/物流施設/不動産投資

注目すべき不動産事業機会 富裕層を取り込む新しい視点とは

7/29
火
13:00~17:00
会場 ● 都市センターホテル
講師 ● 牧野 知弘氏



不動産マーケットを取り巻く環境は日々変化し、それに伴い注視すべき項目も変わります。近時ではマイナス金利の解除による「金利のある世界」への突入はその筆頭であり、これからの不動産投資ビジネスに多大な影響を及ぼすと予見されています。加えて建設費の高騰、気候変動・地政学的リスク、海外情勢の動き、富裕層の台頭やインバウンドの増加など、マーケットに多大な影響を与えうるトピックスは多々存在しています。

このような状況下で、今後の不動産ビジネスは一体どうなるのでしょうか？そして、不動産事業者が勝ち残るためにはどのようなビジネスプランを構築していけばよいのでしょうか？

本セミナーは、不動産ビジネスに35年以上携わり、不動産事業プロデューサーとして注目される牧野知弘氏を講師にお迎えし、マーケットを取り巻く環境とアセット別のビジネス動向、そして注目すべきビジネスチャンスについて、その豊富で深い見識に基づいて解説いただきます。

今後起こる「不動産価値革命」に対応する戦略を練るための機会として、不動産事業の企画・開発・運営・投融資に携わる方々の積極的なご参加をお勧めいたします。

FAX用 参加申込書 [不動産価値革命]と今後のビジネスチャンス研究

会社名(フリガナ)	貴社業種
振込予定日()月()日 当日現金支払い希望… ☐ ご担当者名()	

所在地(〒)

TEL () FAX ()

出席者①	氏名(フリガナ)	所属部署・役職名
	E-MAIL	
出席者②	氏名(フリガナ)	所属部署・役職名
	E-MAIL	

開催日時 2025年7月29日(火) 13:00~17:00

会場 都市センターホテル

東京都千代田区平河町2-4-1 ☎03-3265-8211(代)

※詳しい会場案内図は参加証にてお知らせいたします。

参加費 55,000円/1名様 ※消費税及び地方消費税を含む

●同一申込書にて2名様以上参加の場合

48,400円/1名様につき ※消費税及び地方消費税を含む

※テキスト代を含む。

主催 総合ユニコム(株)

月刊プロバディマネジメント/月刊レジャー産業資料

お問合せ先/総合ユニコム(株)企画事業部 ☎03-3563-0099(直通)

ネットでお申込み 下記URLの弊社ホームページからもお申込みできます。
<https://www.sogo-unicom.co.jp>

FAXでお申込み 左下の申込用紙へ記入し、下記フリーダイヤルへFAX願います。
☎0120-05-2560 [不通時はFAX.03-3564-2560]

●お申込み方法

- ・【インターネットでのお申込み】弊社HPの該当セミナーページよりお申込みください。詳細は弊社HPをご覧ください。
- ・【FAXでのお申込み】左記「参加申込書」にご記入後、上記FAX番号にてお申込みください。参加者宛に「参加証/請求書/銀行振込用紙」を郵送いたします。
- ・【開催直前や当日の申込受付】開催直前や当日でも空きがあれば受け付けます。その場合は、メールまたはFAXにて「受講案内」と「支払方法」をご連絡いたしますので、必ずメールアドレスかFAX番号の明記をお願いいたします。
- ・当日は「参加証」をご持参いただき、受付に「お名刺1枚」と共にお渡しください。

●参加費のお支払について

- ・【インターネットでのお申込み】弊社HP経由でのお申込みに限り、クレジットカード決済か銀行振込かの選択が可能です。なお、クレジットカード決済は申込み時のみ承りますのでご注意ください。銀行振込の場合は、下記FAXでのお申込みの項目をご一読ください。
- ・当日現金でのお支払いも可能です。お申込フォーム備考欄にその旨をご記入願います。

【FAXでのお申込み】

- ・参加費は「請求書」到着後、原則として開催3営業日前迄にお振込み願います。
- ・お振込みが開催後日になる場合は、左記「振込予定日」欄にご記入ください。
- ・お振込手数料は貴社にてご負担願います。
- ・当日現金でのお支払いも可能です。「当日現金支払い希望」欄に☑印をご記入願います。

●お申込者が参加できない場合について

- ・代理者にご出席いただけます。既送の「参加証」と「代理者のお名刺1枚」をご持参のうえ、当日会場受付までご来場ください。

●キャンセルについて

- ・開催3営業日前(土日祝日、年末年始を除く)迄に、弊社宛に「会社名/氏名/電話番号/返金先銀行口座(お振込済みの場合)」を明記の上、FAX.03-3564-2560宛に必ずご連絡ください。返金手数料として3,000円(1件毎)を申し受けます。なお、開催2営業日前以降のキャンセルにつきましては、全額をキャンセル料として申し受けます。その際には当日配布資料を参加者宛にご送付いたします。

●その他ご連絡事項

- ・お席は受付順を基本に当方にて指定させていただきます。
- ・講演中の録音・録画、携帯電話等での通話はお断りいたします。
- ・講演中のPCの使用は可能ですが、使用の際には周囲へのご配慮をお願いします。
- ・ご記入いただいた個人情報、弊社商品案内ならびにセミナーの適切な運営、参加者間の交流促進のために利用させていただきます。
- ・主催者や講師等の諸般の事情により、講師変更や開催を中止する場合がございます。その際には弊社より参加者にご連絡させていただきます。
- ・開催中止の場合には受講料を返金いたしますが、それ以外の理由では返金できません。また、開催中止の際の交通費の払い戻し・キャンセル料の負担はいたしかねます。

[不動産価値革命]と 今後のビジネスチャンス研究



PROGRAM

※15時前後にコーヒーブレイクを挟みます

I. 日本社会を取り巻く環境変化と 不動産マーケットの最新トピックス

1. 地価の現況
2. 「金利のある世界」となった不動産マーケット
3. 建設費高騰の行方
4. 市街地再開発事業の限界と今後
5. タワーマンション、空室税などの規制強化をどう考えるか
6. 空き家と今後の相続多発問題
7. 富裕層の台頭と不動産マーケット
8. 海外不動産の動向

II. アセットタイプ別にみたビジネス動向

1. マンションマーケットの現況と今後
 - 地域別マーケットの動向 ●超高額マンションの拡大
 - 中古住宅マーケットの活発化
2. オフィスマーケットの現況と今後
 - 空室率の現状 ●ビルテナント「ドミノ倒し」の危険性
3. ホテルマーケットの現況と今後
 - インバウンド需要の中身と今後 ●外資系ブランドの日本進出の加速
4. 商業施設マーケットの現況と今後
 - 百貨店、チェーンストアの売上げ動向 ●物価上昇とマーケットの関係性
5. 物流施設マーケットの現況と今後
 - 空室率の上昇 ●供給過剰マーケットの今後
6. 不動産投資マーケットの行方
 - 金融環境の変化と投資マーケット

III. 押さえておくべき「新・ビジネスチャンス」

1. 注目すべき不動産事業機会
2. 富裕層を取り込む新しい視点とは
3. 「街価値」を向上させる再開発事業の創出
4. これからの不動産事業の在り方



牧野 知弘

オラガ総研(株)／(株)オフィス・牧野
代表取締役

まきの・ともひろ ●東京大学経済学部卒業。第一勧業銀行(現みずほ銀行)、ポストンコンサルティンググループを経て、1989年三井不動産(株)入社(オフィスのAM・PM、買収・開発、証券化に従事)。(株)三井不動産ホテルマネジメント出向の後、2006年に日本コマーシャル投資法人執行役員に就任し、同年9月に東証上場。09年(株)オフィス・牧野を設立、15年オラガ総研(株)を設立。不動産事業の企画・プロデュース・アドバイザー業務に携わる。

主な著書に、『なぜ、町の不動産屋はつぶれないのか』『なぜビジネスホテルは、一泊四千円でやっていけるのか』『だから、日本の不動産は値上がりする』『空き家問題——1000万戸の衝撃』『インバウンドの衝撃——外国人観光客が支える日本経済』『民泊ビジネス』『業界だけが知っている「家・土地」バブル崩壊』『不動産で知る日本のこれから』『不動産激変——コロナが変えた日本社会』『ここまで変わる! 家の買い方街の選び方』(いずれも祥伝社新書)、『2020年マンション大崩壊』『2040年全ビジネスモデル崩壊』(ともに文春新書)、『老いる東京、甦る地方』(PHPビジネス新書)、『マイホーム価値革命——2022年「不動産」の常識が変わる』(NHK出版新書)、『街間格差——オリンピック後に輝く街、くすむ街』(中公新書ラクレ)、『人が集まる街、逃げる街』(角川新書)等のほか、『不動産の未来 マイホーム大転換時代に備えよ』(朝日新書)、『負資産地獄 その相続は重荷です』(文春新書)、『なぜマンションは高騰しているのか』(祥伝社新書)、『家が買えない 高額化する住まい 商品化する暮らし』(ハヤカワ新書)、『「不動産×金融」で探る日本経済』(ビジネス社)に、さらに最新刊には『新・空き家問題——2030年に向けての大変革』(祥伝社新書)がある。